

分子病態化学分野

論文

A 欧文

A-a

1. Kutsuna YJ, Iwamoto N, Ichinose K, Aibara N, Nakashima K, Nakamura H, Koike Y, Murota H, Ueki Y, Miyamoto H, Hashizume J, Kodama Y, Nakashima M, Kawakami A, Ohyama K: Immune complexome analysis of a rich variety of serum immune complexes identifies disease-characteristic immune complex antigens in systemic sclerosis. *Journal of Autoimmunity* 134: 102954, 2023. doi: 10.1016/j.jaut.2022.102954. (IF: 7.9)
2. Geng L, Kato N, Kodama Y, Mukai H, Kawakami S: Influence of lipid composition of messenger RNA-loaded lipid nanoparticles on the protein expression via intratracheal administration in mice.. *International Journal of Pharmaceutics* : 122896, 2023. doi: 10.1016/j.ijpharm.2023.122896. (IF: 5.3)
3. Akamatsu H, Nakagawa H, Matsumaru I, Hashizume J, Harasawa H, Kodama Y, Miura T, Ohyama K: Effects of changing the timing of warfarin administration in combination with fluconazole on prolongation of the PT-INR: a case report.. *Journal of Pharmaceutical Health Care and Sciences* 9(1): 11, 2023. doi: 10.1186/s40780-023-00279-w. (IF: 1.2)
4. Terada C, Oh K, Tsubaki R, Chan B, Aibara N, Ohyama K, Shibata M, Wada T, Harada-Shiba M, Yamayoshi A, Yamamoto T: Dynamic and static control of the off-target interactions of antisense oligonucleotides using toehold chemistry.. *Nature Communications* 14: 7972, 2023. (IF: 14.7)
5. Nishihata S, Shimizu T, Umeda M, Furukawa K, Ohyama K, Kawakami A, Nakamura H: Toll-like receptor7-mediated Ro52 antigen-presenting pathway in the salivary gland epithelial cells of Sjögren's syndrome.. *Journal of Clinical Medicine* 12: 4423, 2023. (IF: 3)
6. Kishikawa N, El-Maghrabey M, Kawamoto A, Ohyama K, Kuroda N: Determination of anthraquinone-tagged amines using high-performance liquid chromatography with online UV irradiation and luminol and luminol chemiluminescence detection.. *Molecules* 28: 2146, 2023. (IF: 4.2)
7. Sakai N, Kamimura K, Miyamoto H, Ko M, Nagoya T, Setsu T, Sakamaki A, Yokoo T, Kamimura H, Soki H, Tokunaga A, Inamine T, Nakashima M, Enomoto H, Kousaka K, Tachiki H, Ohyama K, Terai S : Letrozole ameliorates liver fibrosis through the inhibition of the CTGF pathway and 17 β -hydroxysteroid dehydrogenase 13 expression.. *Journal of Gastroenterology* 58: 53-68, 2023. (IF: 6.9)

A-e-2

1. 池田 和博, 佐藤 航, 楊 絢太, 堀江 公仁子, 竹岩 俊彦, 新谷 大輔, 黒崎 友亮, 兒玉 幸修, 佐々木 均, 長谷川 幸清, 井上 聡: 卵巣がん幹細胞性に対する疾患特異的非コードRNA OIN1を標的とするRNA干渉ナノ療法の開発(A new RNAi nanotherapy for ovarian cancer stemness targeting a disease-specific long noncoding RNA OIN1). *日本癌学会総会記事* 82回: 1515, 2023.

学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
0	0	0	0	6	11

社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
大山 要・教授	評価実施委員	薬学教育評価機構
大山 要・教授	薬学教育委員会 委員	日本薬学会
大山 要・教授	代議員	日本薬学会
大山 要・教授	代議員	日本病院薬剤師会
大山 要・教授	JPHCS編集委員会 委員	日本医療薬学会
大山 要・教授	JPHCS誌論文賞選考小委員会	日本医療薬学会
大山 要・教授	評議員	クロマトグラフィー科学会
大山 要・教授	高度先導的薬剤師養成プログラム運営委員	国公立19大学
大山 要・教授	国公立大学薬学部6年制教育研究検討委員	国公立19大学
大山 要・教授	委員	病院・薬局実務実習九州・山口地区調整機構
大山 要・教授	理事	九州山口薬学会運営委員会

大山 要・教授	委員	九州山口病院薬局協議会
大山 要・教授	薬事審議会委員	長崎県
大山 要・教授	がん診療連携協議会委員	長崎県
大山 要・教授	薬剤師研修協議会委員	長崎県
大山 要・教授	会長	長崎県病院薬剤師会
兒玉幸修・准教授	九州山口支部幹事	日本薬学会
兒玉幸修・准教授	広報・出版部 部員	日本病院薬剤師会
兒玉幸修・准教授	副会長	長崎県病院薬剤師会
兒玉幸修・准教授	理事	長崎県薬剤師会
兒玉幸修・准教授	薬事情報・試験検査委員会 委員長	長崎県薬剤師会
兒玉幸修・准教授	ジェネリック医薬品使用促進協議会 委員	長崎県
兒玉幸修・准教授	循環器病対策推進協議会 委員	長崎県
兒玉幸修・准教授	合同輸血療法委員会	長崎県
兒玉幸修・准教授	JPHCS委員会 委員	日本医療薬学会
兒玉幸修・准教授	代議員	日本医療薬学会
兒玉幸修・准教授	委員	九州山口病院薬局協議会

競争的研究資金獲得状況（共同研究を含む）

氏名・職	資金提供元/共同研究先	代表・分担	研究題目
大山 要・教授	日本学術振興会	代表	基盤研究A 「ゲーム依存の社会浸透を防げるか？統合的 科学評価と早期依存対策に向けた基盤研究」
大山 要・教授	日本学術振興会	代表	挑戦的研究（開拓） 「精神疾患との共生型社会実現に向けた「病 気の見える化」への挑戦」
大山 要・教授	日本学術振興会	代表	挑戦的研究（開拓）、期間延長 「健診コホートのプロテオミクスと人工知能 を基盤とする関節リウマチ個別化予防の構 築」
大山 要・教授	日本学術振興会	分担	基盤研究B 「コホートを用いた歯周病と全身炎症を繋ぐ 分子基盤の解明と病態制御への応用」
大山 要・教授	日本学術振興会	分担	基盤研究C 「膀胱癌特異的な抗原とエピトープを標的と する高指向性がん免疫療法の基礎開発」
大山 要・教授	日本学術振興会	分担	基盤研究C 「骨系統疾患治療のゲームチェンジャー：ヒ ストン修飾を標的にした治療法の開発」
大山 要・教授	日本学術振興会	分担	基盤研究B 「組織標的化リガンドによる核酸医薬のオン デマンド送達の実現」
大山 要・教授	日本学術振興会	分担	基盤研究C 「関節炎が起こる前段階で関節リウマチの発 症を人工知能で予測する多角的研究」
大山 要・教授	日本学術振興会	分担	基盤研究C 「異分野・新旧融合実験手法による高病原性 ウイルスタンパク質の細胞内輸送機構の解 明」
大山 要・教授	日本学術振興会	分担	基盤研究C 「悪性腸腰筋症候群の病態に筋紡錘が与える 影響の解明と疼痛コントロール方法の検討」
里加代子・助教	日本学術振興会	代表	基盤研究C 「PK/PDモデルを用いたVenetoclax最適投与法 の確立」

特 許

氏名・職	特 許 権 名 称	出願年月日	取得年月日	番 号
大山 要・教授	免疫複合体の網羅的解析方法および新規関節リウマチバイオマーカー	2011年9月29日	2016年4月28日	特許登録番号：第5924659号
大山 要・教授	中枢神経ループス（NPSE）診断用バイオマーカー	2013年3月18日	出願中	特願2013-55543
大山 要・教授	キノンを検出するための化合物および該化合物を用いたキノンの検出法	2013年8月27日	2017年11月30日	特許登録番号：第6233834号
大山 要・教授	肺癌診断用バイオマーカー	2014年7月24日	2015年7月8日	PCT/JP2015/69674
大山 要・教授	線維化誘導遺伝子の発現抑制剤およびその用途	2018年10月31日	出願中	特願2018-205632
兒玉幸修・准教授	肺指向性薬物送達体	2019年5月27日	出願中	特願2019-098677
兒玉幸修・准教授	経肺投与用薬物送達体	2019年5月28日	出願中	特願2019-099112
兒玉幸修・准教授	ガン治療薬及びガン治療方法	2020年4月30日	出願中	特願2020-080455
兒玉幸修・准教授	経肺投与用ワクチン組成物	2021年4月26日	出願中	特願2021-74100
兒玉幸修・准教授	ガン治療薬及びガン治療方法	2021年4月30日	出願中	PCT/JP2021/017240
兒玉幸修・准教授	経皮又は経鼻投与用ワクチン組成物	2022年3月25日	出願中	PCT/JP2022/14205

その他

非常勤講師

氏名・職	職（担当科目）	関 係 機 関 名
兒玉幸修・准教授	非常勤講師（薬理学）	向陽学園
兒玉幸修・准教授	非常勤講師（臨床医学Ⅱ（薬学））	長崎医療技術専門学校